

園芸クラブ通信 冬・春号 vol.4



介護老人保健施設 清風苑 2026年2月25日発行

＝春の気配＝

早起きをして、選手の活躍をTV観戦、感動で涙したオリンピック期間。そのオリンピックも閉会し、清風苑のTVもワイドショー、時代劇、韓国ドラマと普段の番組が戻ってきました。早いもので2月も最終週となり、暖かさを感じる日もチラホラ。ニュースでも「〇〇地方で春一番」「河津桜が満開」と春の訪れが近い事を感じる話題が多くなってきました。

さて、寒い日が多く、成長具合をお見せする機会が中々なかったチューリップ・フリージアの球根、イチゴの苗。やっとポカポカ陽気の日が訪れ、急遽お声掛けをし、2名の利用者をプランターまでお連れしました。土から緑の顔を出したチューリップ、ニョキニョキ伸びたフリージア、葉の緑が濃くなったイチゴを見てご自身が植えた球根、苗の成長具合を確認していただきました。

「いちご狩りは難しそうだねえ」という声は聞こえましたが、これからの成長に期待していちご専用の肥料を撒き、球根のプランターにも液体肥料をプスッと挿しておきました。「外の空気は久しぶり！」という感想に「お連れしてよかった」と自己満足に浸る職員なのでした。

— ケアマネジャー 加藤 —



プランターの様子



担当スタッフのつぶやき



雪が降ったと思えばぽかぽか陽気。春も近いですね！



利用者との久しぶりの園芸活動。「やっぱり外の空気はいいね」の声に後押しされ、施設隣の畑まで足を伸ばし畑仕事のご近所さんにご挨拶。ささやかな交流でした。



次号では芽吹きのお知らせが出来るかも?! お楽しみに!!